

文章としてのまとまりを持たせるために、文体を統一するのが普通です。比較的硬い文章の中で使われる文法形式や語彙は、日常的な会話の中で使われるものとは異なります。また、小説、新聞、論文、メールなど文章の種類によって使われる文体が異なります。

文体 = 文章の種類・場面・目的によって異なる表現形式

A 硬い表現と会話で使う表現

◆比較的硬い文章の中に日常会話で使うくだけた言い方が混じると、文体が統一できません。以下のような文法形式に注意しましょう。

(数字は「第1部」の課)

意味	硬い文章で使う表現	日常会話で使う表現
強調	～にあって (1)	～でも・～のときでも
	～すら (17)	～も・～でも
	～だに (17)	～だけでも
手段	～をもって (11)	～で
関連	～いかににかかわらず (5)	～に関係なく
理由・目的	～んがため(に) (11)	～ようと思って
	～ゆえ(に) (12)	～から
断定	～でなくてなんだろう(か) (18)	絶対に～だ
評価	～極まる・～極まりない (19)	～といたらない (19)
心情・強制的思い	～てやまない (20)	強く～と思う
	～に堪えない (20)	強く～と思う
	～ずにはすまない (20)	必ず～することになる
	～ずにはおかない (20)	必ず～する
	～を禁じえない (20)	強く～と思う
	～を余儀なくされる (20)	～しなければならなくなる



B 客観的な表現と主観的な表現

◆文章の中でも特に硬い論説文や論文は、主観的な表現を用いず客観的な表現で書かれています。

1. 「わたし」や「思う」を多用しない。

例 ? わたしは訓練が必要だと思う。

- 訓練が必要だと思われる。 ～と考えられる・～と言える・～と予想される・～のではないだろうかなど

2. 恩恵表現・被害表現・主観的な言い方は使わない。

例 ? 前回の野外実験は台風に来られて装置が破損してしまっただ。しかし、今回は1週間も晴天が続いてくれたおかげで、実験に成功した。

- 前回の野外実験は台風により装置が破損した。しかし、今回は1週間晴天が続いたため、実験に成功した。

3. 話者の心情を表す表現は使わない。

第1部の☆☆や☆☆☆の課にある表現は主観を含むので、論説文ではあまり使われません。また、☆の課にも主観性を含む言い方があるので注意が必要です。

(数字は「第1部」の課)

意味	論説文などで使う客観的な表現	主観的な表現
時間関係☆	～とほぼ同時に	～が早い(か) (1)
		～なり (1)
	～以来	～てからというもの(は) (1)
関連・無関係☆	～に関係なく	～をものともせず(に) (5)
様子☆	～様子で	～んばかり(に) (6)
		～とばかり(に) (6)

その他「～わけにはいかない・～にきまっている・驚いたことに・～かねる」など話者の心情を表す表現は使わず、できるだけ客観的、中立的な表現を使います。

練習1 どちらか適当な方を選びなさい。

1 <レポート>

学生<sup>どうし</sup>同士の入学年度が同じ場合、実年齢差が2歳以内(①a だったら b であれば)、敬語を使用しない傾向が(②a わかった b 認められた)。(③a 一方 b けれど)、実年齢が5歳以上離れた場合、敬語を使用する学生が88%に(④a のぼった b なってしまった)。5歳という差が世代<sup>せだい</sup>を分ける基準になっていると(⑤a 思った b 思われる)。

2 <レポート>

(①a もう b すでに)到来した高齢社会において、緊急に高齢者の福祉を(②a 充実させなければならない b 充実させずにはいられない)。現在行われている医療費の補助や介護制度の確立<sup>かくりつ</sup>だけでは充実した福祉政策とは(③a 言えない b 言うわけにはいかない)。精神面でのケアやコミュニティーの一員としての社会参加の方法などが(④a 必要でなくてなんだらう b 必要だと思われる)。

練習2 以下の会話文をレポート文にします。適当な言葉を \_\_\_\_\_ の上に書きなさい。

<会話>

妻：あー、また失敗。なかなかうまくできないなあ。

夫：ま、「失敗は成功のもと」<sup>せいこう</sup>って言うじゃないか。

妻：本当にそうかなあ。わたし、失敗してばかりだよ。

夫：いや、脳の働きから言ったら、本当らしいよ。脳には前に間違えた方向を選ばないという性質があるんだよ。だから、失敗すると、しないときよりもっと覚えやすくなるんだって。そうそう、それと、命の危険を感じるときって、そうじゃないときより脳がよく働くらしいよ。

妻：え？ どういうこと？

夫：えーと、ちょっと寒いときとか、ちょっとお腹がすいてるときって、食べ物をとったり冬に備えたりしなきゃいけないから、動物の本能<sup>ほんのう</sup>で脳が働きやすくなるんだって。

<レポート>

「失敗は成功のもと」<sup>せいこう</sup>① \_\_\_\_\_ が、これは脳の働きから見ると、正しいことだと言える。脳には前に間違えた方向を選ばないという性質が② \_\_\_\_\_、失敗により記憶<sup>きおく</sup>の定着率<sup>ていちゃくりつ</sup>が高くなるのである。③ \_\_\_\_\_、生命に危険を④ \_\_\_\_\_、そうでないときに比べ、脳の働きが良くなる。これは、飢えや冬の寒さに備えなければならないため、⑤ \_\_\_\_\_ 脳の働きが活性化<sup>かつせい</sup>するからである。

まとめ 次の文章を読んで、文章全体の趣旨<sup>しゆし</sup>を踏まえて、1 から 5 の中に入る最もよいものを1・2・3・4から一つ選びなさい。

近年<sup>きんねん</sup>の医師不足にはさまざまな原因があると言われる。一つには、医師過剰<sup>かじょう</sup>が予想されて医学部の定員が減ったことがあるだろう。また、医療事故で訴えられるリスクが高く、さらに労働環境も厳しいとされる 1、産婦人科医や小児科医を志<sup>こころざ</sup>す学生が減っている 2。さらに、人手不足により定時に職場を出られないために、子育て中の女性医師の職場復帰が難しいことも一因<sup>いちいん</sup>とされている。

そこで、政府は医学部の定員を増やすと同時に、医師不足解消のための対策費を追加することを決定した。これらの施策が医師不足の解消につながるか 3、医師の労働環境や訴訟リスクの問題が解消されないため、医師不足は 4 深刻化している。そのため、救急患者を受け入れるためのベッドがない、夜間は専門の医師がいないなどの理由で、救急車が受け入れを断られる例も増えている。こうした状況は、今後極めて深刻になると 5、実効性のある対策が求められている。

1

- 1 もので 2 せいで
- 3 ものだから 4 ことから

2

- 1 ことを挙げよう 2 ことが挙げられる
- 3 ことを挙げてみる 4 ことを挙げるだろう

3

- 1 と思われたら 2 と思いきや
- 3 と期待したら 4 と期待されたが

4

- 1 ますます 2 どんどん
- 3 なかなか 4 とても

5

- 1 考えていて 2 考えられているし
- 3 考えられており 4 考えさせられ